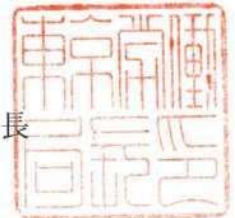




東労発基 0525 第3号
令和3年5月25日

建設業労働災害防止協会
東京支部長 殿

東京労働局長



SafeWork TOKYO 建設死亡災害緊急対策の実施について（要請）

平素より労働安全衛生行政の推進に御理解と御協力を賜り御礼申し上げます。

さて、令和3年における都内の建設業における死亡者数は、5月19日時点で11人と前年同期（6人）に比べ5人の増加であり、極めて憂慮すべき事態となっています。内訳をみると、死亡者数全体の55%が墜落・転落によるものであり、基本的な災害防止対策が十分に講じられていないことが懸念されます。

また、直近では、高層ビルの建設工事現場におけるデッキプレートの落下による死亡災害や足場が線路内架線上へ倒壊したことによる電車の通行障害など社会的に注目される事案も発生しています。

つきましては、建設業において急増する死亡災害の撲滅を図るため、別添のとおり、「Safe Work TOKYO 建設死亡災害緊急対策要綱」（以下、「対策要綱」という。）を定め、本年6月1日から7月31日の期間において緊急対策を実施することとしたので、貴団体におかれましては、対策要綱に定めた労働災害防止関係団体の実施事項に取り組んでいただきますよう要請します。





Safe Work TOKYO 建設死亡災害緊急対策要綱

～急増する死亡災害の撲滅に向けた集中的取組～ 東京労働局

1 趣旨・目的

令和3年における東京労働局の建設業における死亡者数は、5月19日時点で11人と前年同期（6人）に比べ5人増加しており、極めて憂慮すべき事態となっている。

内訳をみると、死亡者数全体の55%が墜落・転落によるものであり、基本的な災害防止対策が十分に講じられていないこと、建設工事現場における安全衛生管理活動が低調になっていることが懸念される。

このことから、建設業において急増する死亡災害の撲滅に向けた集中的取組として、建設工事現場に対する安全指導を強化するとともに、都内の建設関係労働災害防止団体等を通じ、各傘下の建設事業者に対して、墜落・転落防止を重点とした労働災害防止対策の強化の要請など各種の集中的取組を行うこととする。

2 取組期間

令和3年6月1日～7月31日

3 東京労働局・労働基準監督署の実施事項

- (1) 東京労働局長による大規模建設工事現場に対するパトロールの実施
- (2) 各労働基準監督署による建設業に対する集中的取組の実施
- (3) 建設業労働災害防止協会東京支部、発注者、大手建設業者に対する緊急対策要請
- (4) 建設工事に対する現場指導の集中的実施
- (5) 建設業労働災害防止協会東京支部各分会との合同パトロールの実施（署）
- (6) 大手建設業者との連絡会議の開催
- (7) 建設工事関係者（公共工事発注者等）連絡会議の開催
- (8) 局幹部と建設業労働災害防止協会東京支部との合同による緊急対策確認パトロールの実施
- (9) 広報の実施
- (10) 建設事業者が行う実施事項に係る指導援助

4 労働災害防止団体、発注者等関係機関の実施事項

- (1) 「Safe Work TOKYO建設死亡災害緊急対策要綱」の会員事業場、関係業者等への周知、取組要請
- (2) 上記3の実施事項への支援、協力
- (3) 会員事業場等に対する安全衛生活動の指導、援助
- (4) 現場パトロール等の実施、支援

5 建設事業者（元方事業者）の実施事項

（１）「Safe Work TOKYO建設死亡災害緊急対策要綱」の関係労働者等への周知

（２）店社パトロールの実施強化（施工現場に対する集中的安全総点検の実施）

（３）施工現場における統括管理の強化及び墜落・転落防止対策の徹底等

- ① 統括安全衛生責任者による現場巡視の励行と安全総点検、施工計画段階におけるリスクアセスメントと作業開始前の危険予知活動の的確な実施、新規入場者等に対する安全衛生教育の強化など安全衛生管理の強化
- ② 高所作業自体が少なく済む工法の採用、墜落・転落危険場所における有効な作業床の設置、作業床の設置が困難な場合における防網の設置及び墜落制止用器具の使用徹底
- ③ 足場における墜落防止措置及び物体の落下防止措置、より安全な措置の徹底及び的確な強度検討
- ④ 脚立等使用時における適切な用具の選定と適正な使用に係る関係労働者への教育の実施及び安全な作業手順の遵守徹底
- ⑤ 熱中症予防対策における３管理（作業環境管理・作業管理・健康管理）の徹底等

6 その他

東京労働局では、集中的取組の実績等結果について公表を行う。

令和3年

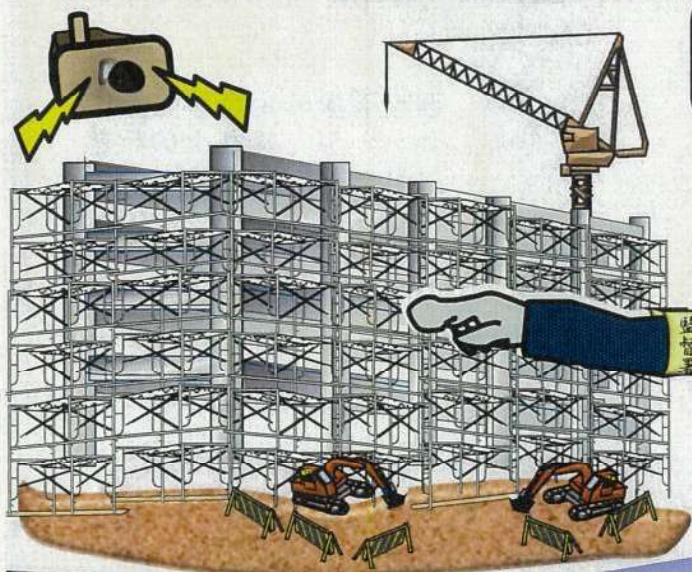
建設業の皆様へ！

大規模建設工事現場で 死亡災害が多発！！

緊急パトロール実施！

建設業において死亡等重篤な災害の多発が懸念されることから、東京労働局(労働基準監督署)では、6月1日～7月31日の期間に「SafeWork TOKYO 建設死亡災害緊急対策」を実施します！

緊急対策の取組期間中に、できる限り、多くの建設工事現場を巡回します！



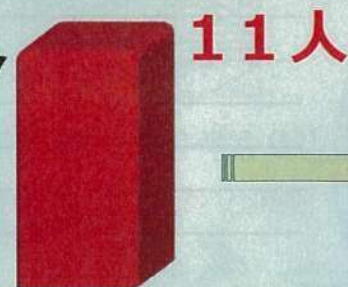
建設業の死亡災害が昨年同期のほぼ2倍発生！！

建設業における
死亡災害
(5月19日現在)

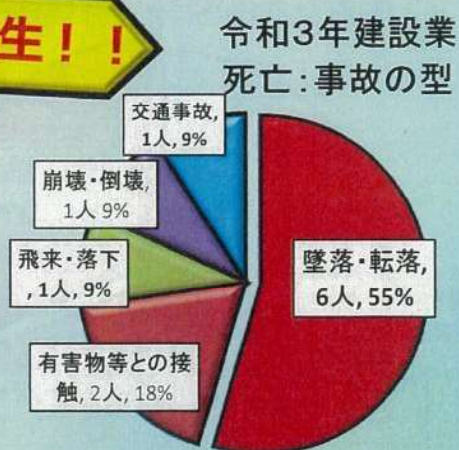
12
10
8
6
4
2
0



令和2年



令和3年



トップが打ち出す方針 みんなで共有 生み出す安全・安心

東京労働局労働基準部安全課 (R3.5)

元請事業場の方々へ

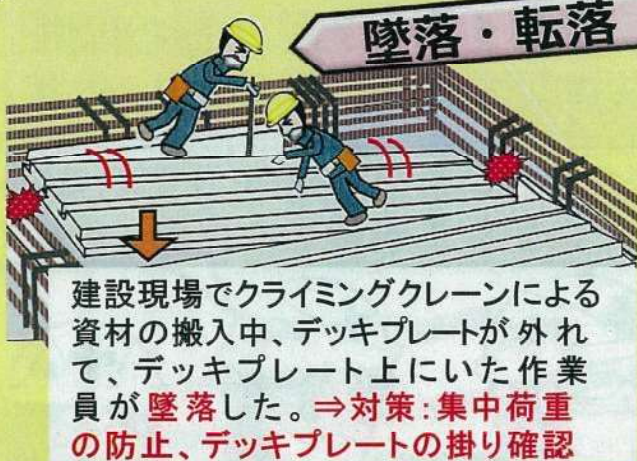
統括管理の徹底強化を
お願いします！



- ☐ 店社パトロール、現場巡視の強化！
- ☐ 墜落・転落防止対策の徹底！
- ☐ 作業計画、作業標準の見直しと遵守徹底！
- ☐ リスクアセスメント、KYの確実な実施！
- ☐ 関係労働者に対する安全衛生教育の実施！

令和3年に発生した建設業の災害・事故事例 (社会的に注目された事例)

墜落・転落



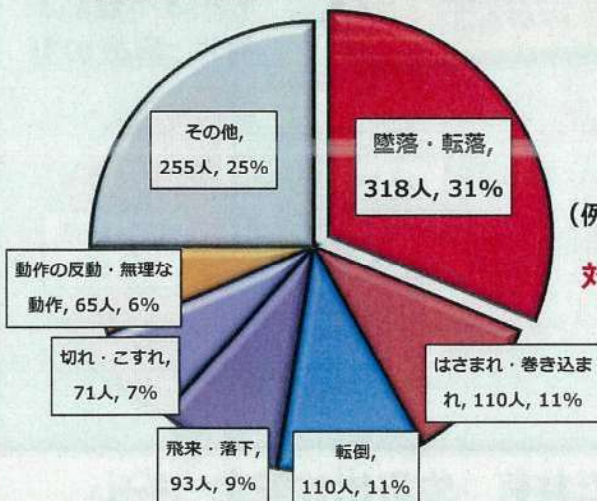
崩壊・倒壊



！ 同種の災害・事故は絶対に発生させては、いけません！！

死傷災害でも墜落・転落災害が最多になっています！

事故の型別・死傷災害発生状況
(建設業・令和2年発生分:1022人)

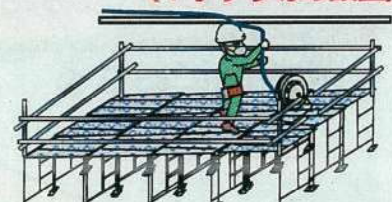


対策1: 高所作業自体が少なく済むような工法の採用



(例) 足場の大組・大払工法

対策2: 有効な作業床の設置 (+手すり等の設置)



(例) 全面的なステージ足場の設置

対策3: 墜落制止用器具の使用徹底



対策4: 適切な用具の選定と適正な使用

